

【別紙】 26年度 目標 学年目標	中期的な目標	指導の重点とする方策	26年度 具体的な取り組み
<p>あかるく げんきな子</p> <p>【5歳】 【4歳】 【3歳】 指導計画に 記載</p>	<p>○教師との信頼関係を基盤に情緒の安定を図り、基本的な生活習慣や態度を身に付け、進んで体を動かし、自分の力で行動しようとする自立の構えを養う。</p> <p>○友達との生活を楽しみ満足感や充実感を味わう中で、めあてをもって取り組み自己を十分に発揮しようとする意欲や主体的な態度を養う。</p>	<p>○体を十分に動かし、自分の力で行動できるよう、遊びの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の自立を図り、自分の力で行動することの喜びを感じられるよう、家庭と連携し、一人ひとりの発達に応じた支援を工夫する。(健康・人間関係) 挑戦しようとする意欲や友達とルールを守って遊ぶことのできる力を養うため、近隣公園での毎朝のランニングや体操を継続するとともに、様々な運動遊びを展開する。(健康・人間関係) 積極的に環境にかかわって遊ぶ力を育むために、興味や関心を引き出す活動や魅力ある行事の展開などを工夫する(健康・環境・表現) <p>○進んで体を動かし、楽しさを味わえるように、校庭・公園・講堂のそれぞれの特徴を生かした遊びを意図的・計画的に行う。また、幼児が主体的に環境にかかわり、自分の力を発揮できるよう、発達段階に即した運動遊具の整備や遊びの工夫に努める。</p> <p>○生活習慣・食・戸外遊びなどの健康に対する意識を高めることができるように、小学校の栄養教諭・養護教諭と連携し、健康教育を行う。</p>	<p>【5歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に向かって意欲的に遊びや生活を進めることができるよう、自分で考えたり友達と考えを伝え合ったりする機会を作り、自分から取り組んでみたいと思えるような活動を計画していく。また、幼児の行動を受け入れながら丁寧に認めていき、自分の頑張りに気付いたり達成感を感じたりして自信をもって行動できるようにしていく。 生活習慣や食、戸外遊びなどの大切さや必要性を伝えることを通して、自分の健康に対する意識を高め、自分の体を大切にしようと思えるようにしていく。また、教師が幼児のありのままの姿を受け止め、認めていくことを繰り返し行っていく中で、ひとりひとりが大切な存在であると感じられるようにしていく。 <p>【4歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人がいろいろな遊びに興味をもって自分から取り組めるよう促し、やってみようとする気持ちを受け止めながら個々に応じて段階を踏み、教師が必要に応じて遊びを提示していく。 学級全体で身体を動かしながら、ルールのある遊びを楽しんだり、年長児からの刺激を受け、自分からやってみようとしたりする気持ちがもてよう個々に援助していく。 <p>【3歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園生活に慣れ、喜んで登園できるよう環境の設定や教材の提示をしながら援助をしていく。 自分でできることはやってみようとする気持ちがもてるよう、一人一人の発達の状況や特性を理解し、家庭と連携を図りながら個々に応じて生活に必要なことを繰り返し援助、指導していく。 園生活における約束を、視覚的にわかりやすいよう提示したり、環境を整えたりしていき、安全に過ごせるようにする。
<p>なかよく あそぶ子</p> <p>【5歳】 【4歳】 【3歳】 指導計画に 記載</p>	<p>○様々な人との交流や遊びの充実を図り、人とかかわる体験を深める中で、親しみや思いやりの気持ちを育み、社会性や道徳性の芽生えを培う。</p>	<p>○互いのよさを認め、一人ひとりが自己を十分に発揮できるよう、協力して取り組む生活を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に受け入れられる心地よさを積み重ね、自己肯定感や自尊心を高めるために、チーム保育を展開する中で、一人ひとりのありのままの姿・個性を丁寧に理解し、全職員で受け入れていく。(人間関係・言葉) 友達と協力して楽しみ、時には自分の気持ちを調整していく態度を養うために、自分の気持ちを言葉で表現したり、相手の話をよく聞き受け止めたりする体験を重ねられるようにする。(人間関係・言葉) <p>○日本古来の行事や芸術に親しみをもち、感性豊かな心を育むために、季節行事を計画的に取り上げるとともに、お茶・新内節・木遣り・獅子舞など日本の伝統・文化に触れる機会を設ける。また、保護者や地域の方の力を生かすことで、幼児が伝統や文化に主体的にかかわれるようにするとともに、身近な人々への親しみの気持ちや自分が大切にされていることを感じられるようにする。</p>	<p>【5歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と遊びや生活を共にしていくなかで、思いや考えを自分なりに表現できるように、一人一人の発達や思いを理解しながら見守ったり、気持ちを調整していくために必要な指導を行ったりしていく。また、友達のよさや思いに気づき、互いに尊重し合えるように、教師が幼児を認める姿をモデルとなって示していく。 年下の子や小学生、地域の人との交流を通して、相手の良さを見つけ憧れの気持ちをもったり、かかわり方を学んだりできるように、職員間の連携を図りながら計画し、進めていく。 <p>【4歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな場面で自分の思いを言葉や動きで表現したり、相手の思いに耳を傾け受け入れたりしていけるよう教師は意図的に学級の中で発信していく。 大人や小学生などかかわる中で、親しみや憧れの気持ちがもてるよう教師が一つ一つ行事の意味を理解し、楽しみにできるよう進めていく。 <p>【3歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが自分の思いを出しながら遊びや生活を楽しめるよう、スキンシップをとったり、個々の思いや動きを受け止めたりして信頼関係を築いていけるようにする。 先生や友達と一緒に遊ぶことを楽しんだり、みんなでする活動を楽しんだりできるよう、みんなで遊ぶ時間を設定したり、活動を提示したりしていく。 さまざまな人と安心してかかわれるように、異年齢の友達と一緒に活動したり、小学生の姿を目にしたりする機会を設ける。

<p>よくかんがえ やりぬく子</p> <p>【5歳】 【4歳】 【3歳】 指導計画に記載</p>	<p>○身近な環境に興味や関心をもってかかわり、具体的な活動を通して、豊かな感性や表現力・好奇心・自ら考えようとする力を育む。</p>	<p>○友達と一緒に考え、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わい、自ら考えようとする気持ちが育つよう、友達と感動を共有したり、協同して取り組んだりする活動を取り入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節により自然や人間の生活に変化があることに気付き、関心をもてるよう、身近な錦華公園での日々の遊びの内容や、遠足や地域など園外での直接的な体験を工夫する。(環境・表現) ・友達と一緒に遊びや生活を楽しむ中で、自分とは違う考えに気付き、自分の考えを広げていけるよう、共通のめあてをもって取り組む活動を意図的、計画的に実施する。(人間関係・環境) <p>○自然の美しさや生命の尊さに気付き大切にすることを育むために、おひさまガーデンと錦華公園の自然環境を活用し、植物を育てる・収穫を喜ぶ・責任をもって小動物の世話をを行うなどの直接体験ができるようにする。</p> <p>○資源や自然を大切にしようとする気持ちがもてるよう、千代田エコシステムの下に、リサイクルや節電などの環境教育を推進する。</p>	<p>【5歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活などの様々な活動のなかで、幼児が考えたり工夫したりしながら主体的に取り組むことで、めあてを達成したときの充実感や満足感を感じられるように、幼児の思いや考えに共感しながら、励ましたり必要に応じた手助けを行ったりしていく。また、学級全体で活動を振り返り、幼児ひとりひとりの良いところや頑張った姿に気付き、認め合う経験を積み重ねていけるようにする。 ・四季の生活や自然の美しさ、変化など自分の周りの環境に関心を持ち、それらを生活に取り入れていけるよう、計画的に行事や自然に触れる機会を取り入れ、発見や驚きに共感していく。 <p>【4歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな活動に自分から参加し、失敗することをおそれず自分なりに考えたり、試したりしながら新たな発見ができるよう時期に応じた環境を設定し様々な経験を積み重ねていく。 ・生活の中で、自分でやろうと決めたことは、途中で諦めず最後までやってみようとする気持ちがもてるような言葉をかけ、自信がもてるよう援助していく。 <p>【3歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然物に触れて遊び、自分なりに試したり繰り返し楽しんだりする楽しさを感じられるよう公園やテラス、講堂、校庭など活用し遊びの場を広げ、さまざまな遊びを経験できるよう活動を提示していく。 ・学級の実態に合わせて、季節の行事や集会などの参加方法や時間を他学年と変えたり、事前の導入の仕方を工夫したりして、無理なく期待をもって参加できるようにする。
<p>開かれた園運営</p>	<p>○保幼小連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人とのかかわりを豊かにし、親しみや思いやりの気持ちを育むことができるよう、小学校や保育園と年間計画に基づいた交流活動を実施する。また、職員同士が事前事後の話し合いを行い、互恵性のある交流を工夫する。 <p>○家庭との連携・子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の幼稚園教育への理解を深めるとともに、保護者自身が安定し子育てを楽しめるよう、幼稚園公開、行事の参観・参加などを実施する。また、園生活等説明会や保育参観後の懇談会、個人面談、学級だよりなどで、教育内容や幼児の変容などを伝える工夫をする。また、登降園時における保護者との直接対話の機会も有効に生かしていく。 ・地域の中の幼稚園として、未就園児の会(ひよこタイム)、発達支援アドバイザーやスクールカウンセラーとの相談会、保護者ボランティアによる読み聞かせ、施設や遊具の開放など、保護者同士の関係づくりや親育ちのための支援を行う。 		
<p>特別支援教育の充実</p>	<p>○一人ひとりの発達や個性に応じた指導を行うために、発達支援アドバイザーやスクールカウンセラー、外部の関係諸機関と連携し、情報と指導方針の共通理解を図り、全職員の指導体制を整えていく。</p>		
<p>安全教育の充実</p>	<p>○緊急災害時への構えや安全に対する意識を高めるために、神田警察と連携し、避難訓練や安全指導の内容を見直し多様な状況を想定した訓練を繰り返し行い、指導の徹底を図る。</p>		
<p>園内研究</p>	<p>○研究主題 「自分で考えて(自ら考え)、遊びを楽しむ子どもを育てる」</p>		